

当日は ①本文書（説明書）、②気づきノート、③審査シート、④参加者マニュアル を
お手元に置いてご参加ください

2024年12月5日

甲南大学リサーチフェスタ 2024 へご参加いただきみなさまへ

甲南大学リサーチフェスタ事務局

12月15日(日)のリサーチフェスタ本番に向け、みなさま方の準備も佳境に入っていることと存じます。

当日の詳細について、本文書にてご案内いたします。別途送付のデータ（本発表審査シート）と併せてご確認ください。発表グループの代表者様におかれましては、本内容をメンバー全員にお伝えいただくようお願いいたします。

当日は、開会式（10：00～10：30）の中で実施する「ガイダンス」で、発表時の注意事項や審査方法等の詳細を説明いたします。発表者におかれましては、必ず開会式にご出席いただきますよう、お願いいたします。

当日の流れや審査等について、以下の通りお知らせいたします。

【当日の主な流れ】

※以下の流れは、主に発表者の動きを示しております。

審査対応やワーク、見学のみの方につきましても、必ず開会式から参加いただきますようお願いいたします。

1. 特設サイトへログインし、「全体説明会会場はこちら」ボタンから全体会場ルーム(Zoom)へ入室し、開会式を視聴する。

2. 開会式終了後、全体説明会会場ルームから退室し、自身の発表時間帯になったら割当てられたルームへ入室し、リハーサルを行う。（自身の発表時間以外の時間は、他者の発表を視聴する。なお、リハーサルはどの発表を聴講してもよい。また、前発表では審査は行わない。）

3. 昼休憩後、全体説明会会場ルームへ入室し、午後のガイダンスを視聴する。

4. ガイダンス終了後、全体説明会会場ルームから退室し、割り当てられた各発表ルームへ入室し、本発表/審査の対応を行う。 ※本発表、リハーサルともに同じ発表ルームとなります。割当ての無い時間帯は自由に聴講。

5. 本発表時間終了後、全体説明会会場ルームへ入室し、審査説明・閉会式を視聴する。閉会式終了後、解散。 ※審査員は、期限までに審査回答を行うこと。

【特設サイトへのログイン】

◆URL：<https://researchfesta.jp/>

※ID と PW はお送りしたメールをご確認ください。

【当日のタイムスケジュール】

●午前中～お昼休憩まで

時間	プログラム内容	概要
9:30～10:00	ログイン開始	
10:00～10:25	開会式・ガイダンス 1	
10:35～10:55	リハーサル A	本発表と同じ時間帯・会場でリハーサルを行います。 20 分の間で、必ず 1 回（できれば 2 回）は通しリハーサルを行ってください。 他の 3 つの時間帯では、他者の発表を聴講します。 自分の発表や他者の発表を見聞きして、気づいた点を「気づきノート」にまとめます。
11:00～11:20	リハーサル B	
11:25～11:45	リハーサル C	
11:50～12:10	リハーサル D	
12:10～12:55	お昼休憩	
12:55～13:10	ガイダンス 2	午後の本発表、ワークについて説明します。

●午後（本発表）

※ 発表会場(Zoom)は □、◇、○、☆ の記号で 4 つに分かれています。

時間帯区分	発表時間	注意事項
本発表 A 例) □1A	1 ターン 13:20～13:29 2 ターン 13:30～13:39 3 ターン 13:40～13:49	<ul style="list-style-type: none"> 各ターンは、<u>質疑応答を含めて「9分」</u>です。 <u>発表は6分以内、質疑応答3分程度確保、間の1分は審査員等の移動時間として、時間通り進められるようにしてください。</u> ⇒※どのターンに何名の審査員が来るかはわかりませんが、途中入場する方もいますので、必ず3ターンとも発表してください。 <u>発表の司会進行は発表者のうちの誰かが行ってください。</u> ⇒司会進行の流れは3ページの【進行について】をご確認ください。・自分が発表・審査のいずれも担当しない時間帯は、どの会場にいてもかまいませんので、自由に聴講してください。
インターバル 15分 3ターン目終了後、自動的にブレイクアウトルームが閉じるので、特設サイトへ戻ってください。		
本発表 B 例) △2B	1 ターン 14:05～14:14 2 ターン 14:15～14:24 3 ターン 14:25～14:34	
インターバル 15分 3ターン目終了後、自動的にブレイクアウトルームが閉じるので、特設サイトへ戻ってください。		
本発表 C 例) ◇3C	1 ターン 14:50～14:59 2 ターン 15:00～15:09 3 ターン 15:10～15:19	
インターバル 15分 3ターン目終了後、自動的にブレイクアウトルームが閉じるので、特設サイトへ戻ってください。		
本発表 D 例) ○4D	1 ターン 15:35～15:44 2 ターン 15:45～15:54 3 ターン 15:55～16:04	
時間帯区分 D の 3 ターン目終了後自動的にブレイクアウトルームが閉じるので、特設サイトへ戻ってください。全体説明会会場にて審査集計の説明・閉会式を行います。		

※1 ターン 10 分の内訳は『発表 6 分以内』『質疑応答 3 分程度』『ブレイクアウトルーム移動 1 分』です。
発表時間が当該ターン開始から 6 分を超えると、質疑応答の時間が設けられなくなりますので気を付けてください。

※見学のみの参加の方は、どのブレイクアウトルームにも自由に入室いただけます。

※【リハーサル】では、審査がありません。本発表と同じ時間帯（A～D）に、同じ発表ルーム（会場□、◇、○、☆の中にあるブレイクアウトルーム）を使い、本発表に向けて発表（リハーサル）を行なってください。その他の時間帯は他チームの発表を自由に聴講してください。**審査対象者のリハーサルの聴講もお勧めです。**

<自身の発表会場・時間帯の確認方法>

特設サイト内の「発表プログラムを確認 (<https://researchfesta.jp/program.html>)」からご確認いただけます。※上記 URL は特設サイト公開（12/10）まではアクセスできません（別途、一覧表ファイルをお送りします。）

【進行について】

例年、各ターンでの時間管理や質疑応答が円滑に進みにくい状況が散見されたことから、進行シナリオを作成しました。

複数名チームの場合、メインの発表者以外のメンバーが、進行役となり、進行シナリオを参考に各ターンの進行をしてください。1 名のみで参加しているチームは、ストップウォッチのアラーム機能を活用するなど、必ずご自身で時間管理を行ってください。

- ① 開始時（開始 0 分）：それでは時間になりましたので発表を始めます。
- ② 発表終了（開始 6 分）：（6 分経過しても発表が終了していなかったら）時間になりましたので発表を終了します。それでは、ただいまの発表に関して、質問やアドバイス、コメント等がありましたら、発言するか、リアクションボタンでアクションしてください。（適宜、参加者を当てて質問を促す）
- ③ 質疑終了（開始 9 分）：時間になりましたので、これで終了します。ありがとうございました。審査員の方は次の審査を行うブレイクアウトルームへ移動して下さい。（3 ターン目は「この時間帯はこれで終了となります。」※自動的にブレイクアウトルームが閉じるので、特設サイトへ戻ってください。）

本発表 30 分が終わる（A～D 各時間帯が終了する）と、その 1 分後にブレイクアウトルームが強制的に終了するように設定されています。そのため、司会役は適切な発表時間、質疑応答時間を正しく確保してください。

<質疑応答で何もリアクションがなく、時間に余裕がある場合のコメント例>

- ・この発表テーマを思いついた理由やきっかけ
- ・類似研究がある中、自分たちのオリジナリティだと思うところ
- ・研究を進めるなかで、苦労したこと

- ・実験方法や計画などで、限られた時間の中で活動を進めたり、より良い結果を得るために工夫した点
- ・この活動を通じて得られたことで、社会に役立ちそうなところ
- ・当初に立てた予想と結果が異なり、軌道修正等を行った点

【審査について】

発表者および審査員希望者は午後には審査員となり、審査をしていただきます。審査員として、他者の発表を審査する方は、下記の内容を必ずご確認ください。なお、審査を行うのは本発表時間帯のみで、リハーサルでは審査は行いません。

<審査対象の発表番号や審査時間帯の確認方法>

別途送付する「本発表審査シート (PDF)」に審査対象となる「会場・ブレイクアウトルーム番号・発表時間帯」を記載しています。審査シートは、事前にご提出いただいた「参加者情報 (高校様の場合、PC 等端末数)」に従って送付します。

(教員用)

“お名前”を審査員名に入れ込んでいますが、生徒の指導の関係で、審査員の入れ替えが必要な場合は、教員間で審査シートを交換していただいても構いません。

(発表者用)

“発表番号 (例：□10D)”を審査員名に入れ込んでいます。端末数に応じて1発表グループでも複数枚の審査シートがある場合があります。その場合はその発表グループ内で各個人に渡して下さい。発表時間を外した時間帯に審査が当たるようになっていますので、グループ内では誰がどの審査をしても問題ありません。

(ワークのみの参加者用)

“所属名+数字 (例：甲南1)”を審査員名に入れ込んでいます。ワーク希望者一人 (端末ごと) に1つずつ審査が行き渡るように審査シートを作成しておりますので、希望者全員に1つずつ配付して下さい。誰がどの審査をしても問題ありません。

<審査の主な流れ>

- ① 審査シートにて審査対象となる「会場・ブレイクアウトルーム番号・発表時間帯」を確認のうえ、該当の会場・時間帯の発表を聞き、審査をしてください。また、審査に当たってはワークシート (本発表) に記入しながら行なってください。
※審査員が混雑しないように、審査の順番を指定しております。審査は必ず、審査シートの「発表番号 (①→②→③)」の順に行なってください。
- ② 審査シートに点数を記録する。(各項目で優秀なものが3点、次が2点、1点と、点数が全て異なるように点数をつけて下さい)
- ③ 記録した審査シートをもとに、後日、リサーチフェスタ事務局から送付される「本発表審査回答フォーム」へ審査結果を入力して回答する。

※公正な審査を行うために、発表時間が終了したら、時間を遵守して次の審査会場となるブレイクアウトルームへご移動ください。

◆審査の方法・基準

「テーマ設定」「データ量」「プレゼンテーション」「スライドデザイン」の4項目で審査します。
優れているチームから3点、2点、1点をつけてください（同一点はつけないこと）。

審査項目	審査のポイント
テーマ設定	設定した研究課題の動機や意義、目的、仮説が明確であり、その研究を遂行することに大きな意味があるか、または、その研究を進めることで多くの人がその成果に関する興味を強く掻き立てられるか。また、類似した研究や調査と比較して、着眼点、独創性（オリジナリティ）、将来性、魅力が優れているか。
データ量	仮説を検証したり、目的を達成するために適切な手法で研究を計画、実施しているか。個人の主観で説明しているのではなく、調査（アンケート）や実験、引用などを使って、客観的、多面的な分析をもとに解析、考察が為されているか、または、これから進めようとしているか。結果が出ていなくても、研究の道筋がしっかりしているか。
プレゼンテーション	その研究課題を専門としない人に対しても、わかりやすく説明され、聞き手の質問に対して適切に答えられているか。また、熱意や話術など、聴衆に伝える（訴える）様々な工夫がされているか。
スライドデザイン	視覚資料として、プレゼンテーションをサポートするパワーポイントやデジタルスライド、キーノートなどを評価。ストーリー構成や色使い、図表・イラストなどが論理的で、適切な配置にデザインされているなど、聴衆に伝える様々なスライドの工夫を行っているか。

<審査員からの質問例>

- ・この発表テーマを思いついた理由やきっかけは何かありますか？
- ・類似した研究と比べて、自分たちのオリジナリティを挙げるとどのような点がありますか？
- ・このテーマについて研究を進めるなかで、苦労したことはありますか？
- ・実験方法や計画などで、限られた時間の中で活動を進めたり、より良い結果を得るために工夫した点がありますか？
- ・この活動を通じて得られたことは社会のどのようなところで役立ちそうですか？
- ・当初に立てた予想と結果が異なり、軌道修正をしたことなどはありますか？

◆感想例)

- ・発表のスライドがとてもわかりやすかったのですが、スライドを作る時の工夫とかどういうところにされていますか？ ぜひ参考にしたいので教えてください。
- ・たとえ話を交えたわかりやすい説明、アニメーションと連動したわかりやすい説明)がとても良かったです。どのような機能を使っているのか、ぜひ参考にしたいので教えてください。

【ワークについて】

リサーチフェスタでは、発表しながら探究活動、研究活動の能力を高めるため、「気づきノート」をご用意しています。

審査、質問を活性化するためにしっかりと活用してください。

以上、リサーチフェスタ当日まで、何卒よろしくお願い申し上げます。

甲南大学 リサーチフェスタ事務局
事務局担当／荻山・中島・音村・西又
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
TEL (078)435-2319
FAX (078)431-2908
e-mail festa@ml.konan-u.ac.jp
